

## 都市空間環境マネジメント論（環境学研究科）／都市計画特論（工学研究科）

担当：加藤博和（かとう・ひろかず）

（環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 臨床環境学コンサルティングファーム部門）

環境総合館 4階 425号室、kato@genv.nagoya-u.ac.jp

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kato/jkato.htm>

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kato/manage2022.pdf> <このシラバス>

※諸連絡はNUCT経由で行います。

質問等はNUCTのメッセージで受け付けます（研究室にはあまりいません）。

### ◆授業の目的・ねらい

都市域における人間活動が都市・地球環境に及ぼす影響メカニズムに関して、交通体系・産業構造・ライフスタイルによる環境負荷発生量の違いを定量評価する方法論と、環境負荷抑制に効果的な施策手法を中心に講述する。さらに、都市・地球環境面からの制約を考慮した都市空間計画・交通計画や、それを支援する財政システムのあり方について探求させる。

### ◆基礎となる専門分野・知識

できれば都市計画や交通計画に関する基礎的な知識があることが望ましい。

### ◆授業内容

- ①「いま、日本の都市はどのような危機に直面しているのか？」
  - ・人口減少、超高齢化、インフラ老朽化、災害脆弱性、そしてパリ協定対応
- ②「なぜこのような都市になったのか？」
  - ・都市形成と交通網整備の経緯とその仕組み、土地利用・交通計画の構造
- ③「都市政策を考えるために何を知っておかなければならないか？」
  - ・マクロ・ミクロ経済学、財政学、費用便益分析、財務諸表、借金と割引率
- ④「日本の都市をどのように変えていく必要があるか？」
  - ・コンパクトプラスネットワーク、ライフサイクル思考
- ⑤「そのために制度をどう変えていく必要があるか？」
  - ・土地利用・交通計画、税制、公共事業評価、合意形成

◆教科書・参考書：基礎的なマクロ経済学・ミクロ経済学を自学自習することが望ましい

◆成績評価の方法：レポート（数回、30%）＋最終発表会の発表内容・方法（70%）

◆キーワード：都市・地球環境、土地利用、交通、社会資本整備

◆日程：月曜5限（16:30-18:00）、変更可能性あり（授業およびNUCTで告知します）

1：4/11、<4/18休講>、2：4/25、3：5/2、4：5/9、5：5/16、6：5/23、7：5/30、8：6/6、9：6/13  
10：6/20、11：6/27、12：7/4、予備日：7/11

※英語しかわからない学生は別メニュー（火曜18:15-19:45、4/19開講）

※最終発表会<出席しないと単位は出ません>：日時・場所（方法）は未定（例年、9月下旬に実施。長時間になります）。受講者それぞれが注目都市を3分でプレゼン

※単位は春学期中には出ません。秋学期に出ますので、ご注意ください。